■山本権兵衛 海軍軍人、政治家。近代海軍建設で“海軍の父”。“長州の陸軍”に対する“薩摩の海軍”を代表して首相。

やまもとごんべえ

万次郎帰国・1852＝ 鹿兒島城下で、薩摩藩士で右筆の山本盛珉の六男に生まれる。

ペリー来航・1853＝ 1歳：

桜田門外変・1860＝ 8歳：

遣欧使節・・1861＝ 9歳：

8月18日政変 1863＝11歳： 薩英戦争で雑役に従事。

文武の稽古に励み、藩校にも出入り、

大政奉還・・1867＝15歳： 藩兵募集に年齢を偽って採用され、藩主に従って上洛、禁門の守衛に当たり、

明治維新・・1868＝16歳： <戊辰戦争>に従軍。

戊辰戦争終・1869＝17歳： 戦後、西郷隆盛の紹介で一時勝海舟に弟子入りして強い影響を受け、その勧めで海軍の道を志す。藩より

初の日刊新聞1870＝18歳： 東京留学を命じられ、昌平黌・開成所に学び、

海軍兵学寮に転じて、

ボスとして、狼藉の限りを尽くし、遊郭出入りも甚だしい寮生活を送りながら、

明治6年政変 1873＝21歳：

佐賀の乱・・1874＝22歳： <台湾出兵>に従軍。

初の民間工場1875＝23歳： {筑波}に乗り込み、アメリカ巡航、

三つの反乱・1876＝24歳： 艦務研究のためドイツ軍艦に乗り組み、世界周航。

西南戦争・・1877＝25歳： 西南戦争で西郷軍に参加しようとして、西郷自らに説得されて兵学寮に戻り、卒業。海軍少尉となり、

大久保暗殺・1878＝26歳： 結婚。

琉球処分・・1879＝27歳：

以後、諸艦の乗組みを経験し、

明治14年政変1881＝29歳：

新体詩抄・・1882＝30歳： {浅間}副長、

内閣発足・・1885＝33歳： {浪速}副長、

帝国大学始・1886＝34歳： {天城}艦長を経て、

国民之友始・1887＝35歳： 海軍大臣伝令使となり、樺山資紀次官の随員として欧米を視察し、

初の対等条約1888＝36歳： 帰国。

帝国憲法発布1889＝37歳：

{高雄}{高千穂}艦長を経て、

足尾鉍毒始・1891＝39歳： *海軍省官房主事になると、西郷従道海相を補佐して、海軍の改革・陸軍に対する海軍の地位向上に努め、

その手腕は“権兵衛大臣”とまで評せられた。

郡司千島探検1893＝41歳： 陸軍が総長をつとめる参謀本部の統轄下にあった海軍の軍令機関を、軍令部として独立させ、

日清戦争始・1894＝42歳： <日清戦争>では参謀本部に、作戦計画上の海軍の重要性を認識させただけでなく、戦争中に起こった諸問

題に的確に対処するなど、海軍軍政の中心として活躍、

日清戦争終・1895＝43歳： 戦後、少将・海軍軍務局長となり、海軍の充実を図り、

八幡製鉄始・1897＝45歳：

子規句歌革新1898＝46歳： *中將、第2次山県有朋内閣の海相となり、以後第4次伊藤博文、第1次桂太郎内閣に留任し、

ビア/国産化・1900＝48歳： <北清事変>には艦隊を派遣して警戒に当たらしめる一方、陸軍の厦門占領作戦には断固として反対し、

田中正造直訴1901＝49歳： 桂新首相に‘重要事項はまず山本と協議すべし’と言わしめるほどになり、

教科書疑獄・1902＝50歳： 男爵。日英同盟実現に協力、

日露戦争始・1904＝52歳： 大将。<日露戦争>では開戦回避を唱えたが、開戦後は、海軍作戦全般の中心となって画策、

日露戦争終・1905＝53歳：

満鉄発足・・1906＝54歳： この年まで、海相をつとめた。軍事参議官。

韓国反日暴動1907＝55歳： 伏見宮に随行し、イギリスに出張。仏大統領・英王・独皇帝・米大統領に拝謁して、帰国。伯爵に昇爵。

明治天皇没・1912＝60歳：

大正政変・・1913＝61歳： *第3次桂内閣の倒壊後、第1次内閣を組織し、政友会の支持をうけて行財政整理、文官任用資格の拡大、軍

部大臣武官制の改革などを行うが、

第一次大戦始1914＝62歳： 海軍高官汚職の<シーメンス事件>で総辞職。予備役に編入となるも、以後も海軍の大御所・薩派の長老と

して隠然たる勢力を保ち、

21ヶ条要求・1915＝63歳：

原敬首相暗殺1921＝69歳：

関東大震災・1923＝71歳： *<関東大震災>直後に第2次内閣を組織、震災後の復興処理にあたるも、<虎の門事件>で引責総辞職。

護憲三派圧勝1924＝72歳：

共産党事件・1928＝76歳： 昭和天皇即位式にあたって、大勲位菊花大綬章を授けられる。

満州事変・・1931＝79歳：

国際連盟脱退1933＝81歳： 妻が死去してまもなく、_没した。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、